

大泉学園北口地区まちづくり懇談会では、これまで月1回のペースで懇談会を開催し、地区の問題点や課題を整理するとともに、地区の将来像やまちづくりの方向性などを議論してきました。

そして約一年間の議論を経て、そのとりまとめの第一段として、このたび大泉学園駅北口地区の「まちづくり計画（たたき台）」を作成しました。

■地区の将来像(まちづくりの目標)

誰にも優しい安全・
安心なまち

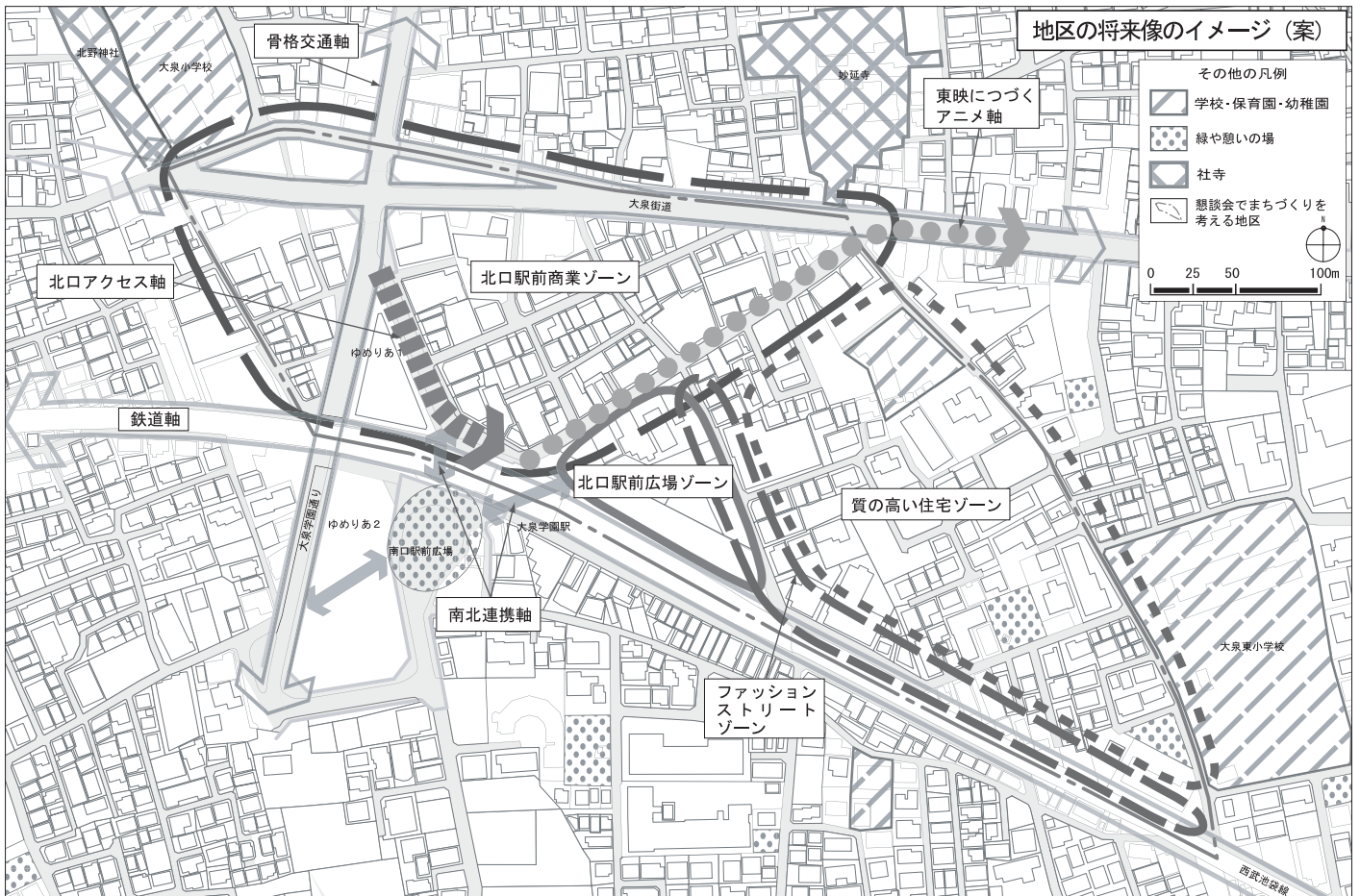
アニメのふるさと

行きたいまち・
行きやすいまち

■ゾーン・軸ごとの将来像

- 〈ゾーン〉
 - 北口駅前商業ゾーン 買物や飲食、娯楽、サービス利用など、多様に楽しめる賑わいと回遊のゾーン
 - 北口駅前広場ゾーン 交通ターミナルと共同ビルからなる北口の新しい拠点地区
 - ファッションストリートゾーン 時代を先取りするおしゃれな店が集まる通り
 - 質の高い住宅ゾーン 駅直近の利便性と緑の多い快適な環境を備えた住宅地

- 〈軸〉
 - 骨格交通軸 北口地区と周辺部との円滑な交通を担う幹線道路
 - 北口アクセス軸 車輪や歩行者を駅周辺へと導く主要な交通動線
 - 東映につづくアニメ軸 駅周辺と東映周辺を結ぶアニメをテーマとした通り
 - 南北連携軸 駅の南北を無理なく移動できる歩行者動線
 - 鉄道軸 将来的に高架化を目指す鉄道軸



■まちづくりの方針

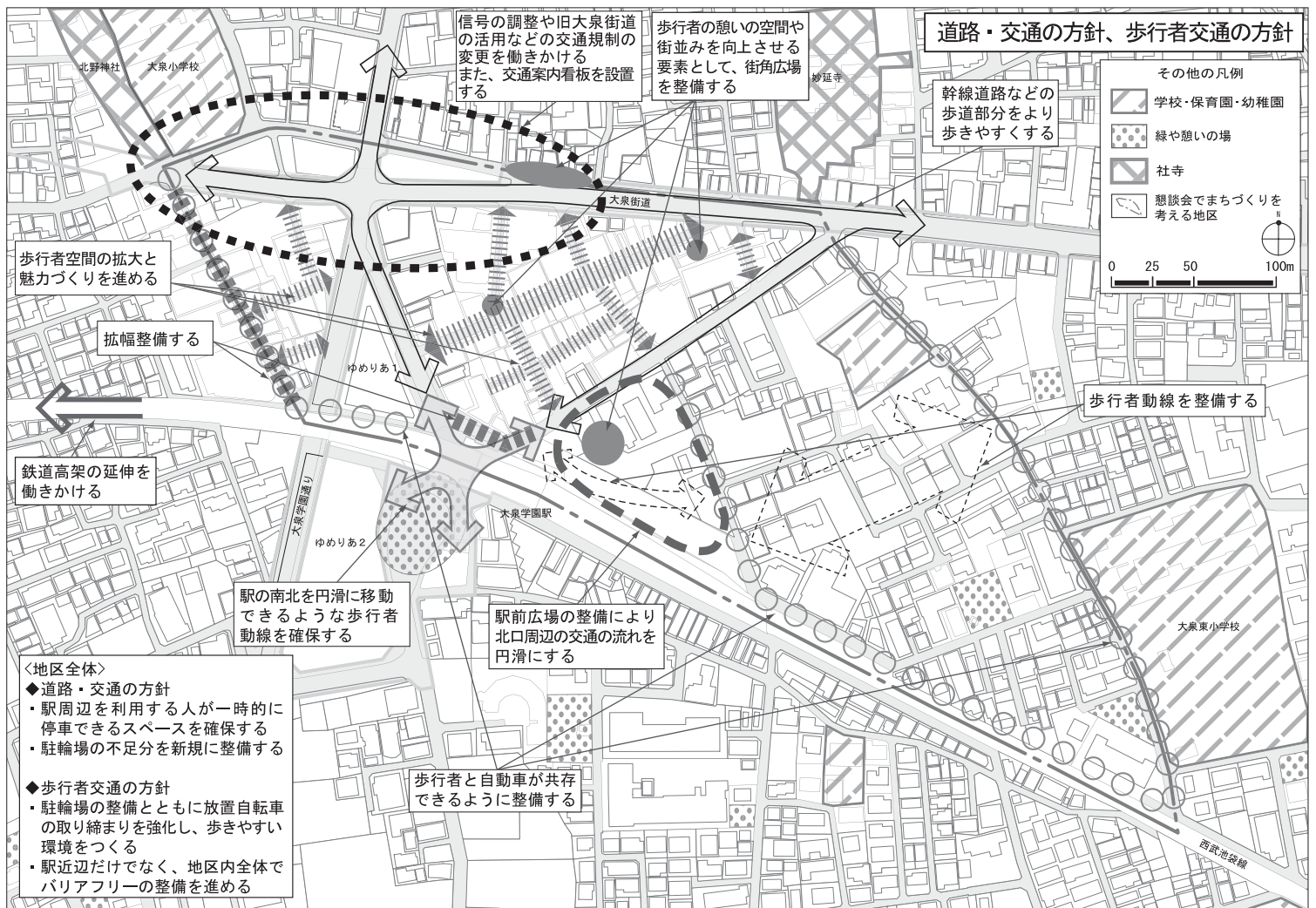
地区の将来像（まちづくりの目標）を実現するため、大泉学園駅北口地区の特性や資源・課題などをもとに、以下の4つのテーマに分けてまちづくりの方針を定めました。

(1) まちに行きやすくする(道路・交通の方針)

- ① 交差点の渋滞を改善するため、信号の調整や旧大泉街道の活用などの交通規制の変更を働きかける。
- ② 駅前広場の整備により北口周辺交通の流れを円滑にする。
- ③ 地区内の主要な道路のうち、幅員が狭いものについては拡幅整備する。
- ④ 駅周辺を利用する人が、一時的に車を停車できるスペースを確保する。
- ⑤ 駐輪場の不足分を新規に整備する。
- ⑥ 鉄道高架の延伸を働きかける。
- ⑦ 駅周辺にアプローチしやすいように交通案内看板を設置する。

(2) 歩きやすいまちをつくる(歩行者交通の方針)

- ① 幹線道路などの歩道部分をより歩きやすくする。
- ② 北口駅前商業ゾーンを楽しく回遊できるよう、歩行者空間の拡大と魅力づくりを進める。
- ③ 交通量が比較的多い道路は、歩行者と自動車が共存できるように整備する。
- ④ 歩行者が北口の東方面から商業地方面へ移動しやすくなるような歩行者動線を整備する。
- ⑤ 北口での駅前広場の整備にあわせて、駅と南北広場を円滑に移動できるような歩行者動線を確保する。
- ⑥ 歩行者の憩いの空間や街並みを向上させる要素として、街角広場を整備する。
- ⑦ 駐輪場の整備とともに放置自転車の取り締まりを強化し、歩きやすい環境をつくる。
- ⑧ 駅周辺だけでなく、地区内全体でバリアフリーの整備を進める。

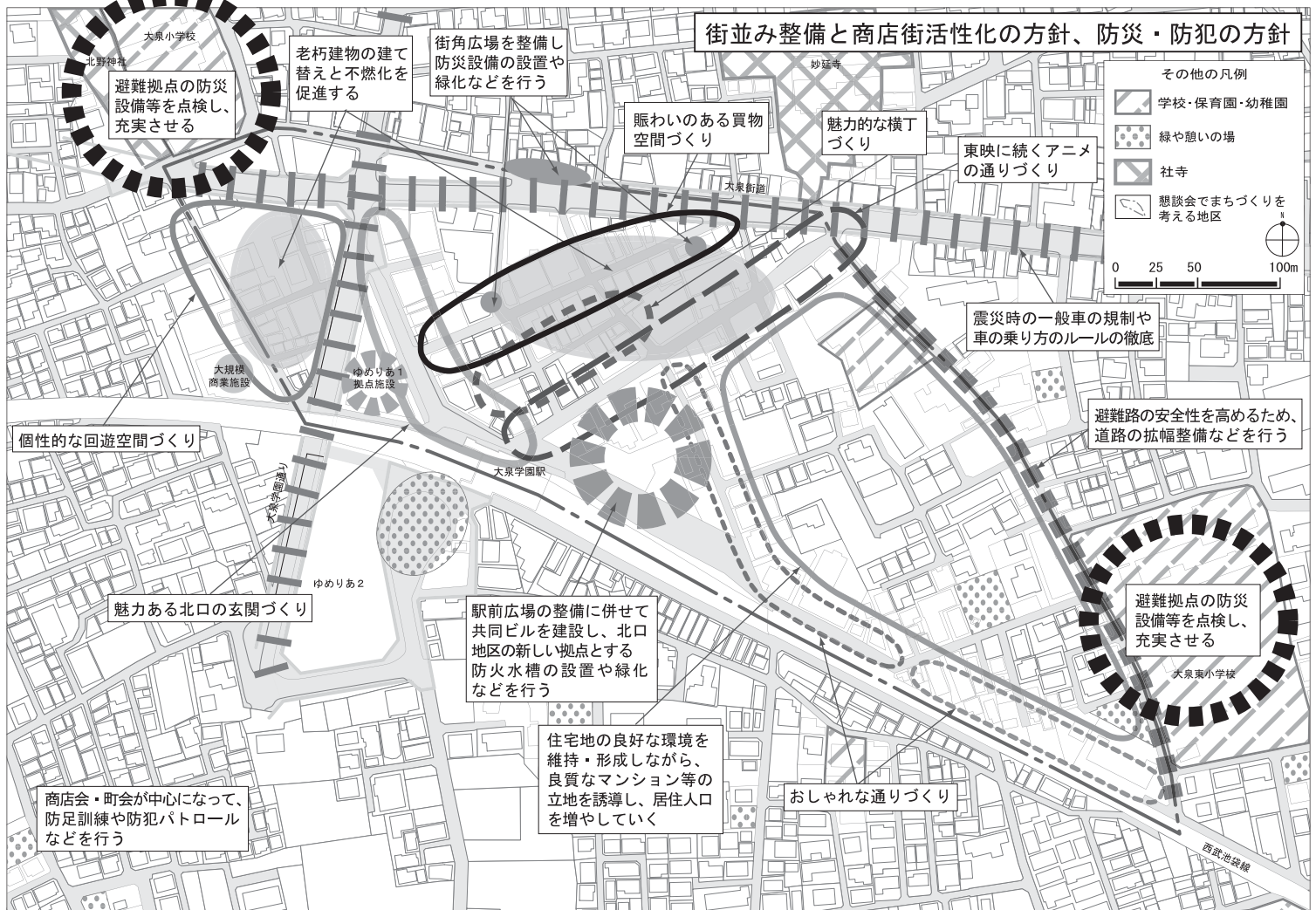


(3) まちの魅力を高める(街並み整備と商店街活性化の方針)

- ① 商業地の店舗・商品・サービスの魅力を高めながら、地区計画等を活用して、通りの性格に応じた街並みづくりを行う。
 - ア 魅力ある北口の玄関づくり : 駅前へのアプローチ空間にふさわしい魅力ある景観づくりや高度利用を進める
 - イ 東映に続くアニメの通りづくり : アニメをテーマとした歩いて楽しい沿道空間をつくる
 - ウ 賑わいのある買物空間づくり : 歩いて買物しやすい環境を整備しながら、商業機能を維持・充実させる
 - エ 魅力的な横丁づくり : 路地的雰囲気を残しながら、さらに魅力を高める
 - オ 個性的な回遊空間づくり : 参道的雰囲気や横丁的な雰囲気などの個性的な空間づくりを進め、新たな人の流れをつくりだす
 - カ おしゃれな通りづくり : ファッション関連の店舗の集積を活かして、おしゃれな雰囲気のする通りとしていく
- ② 駅前広場の整備に併せて共同ビルを建設し、北口地区の新しい拠点とする。
- ③ 住宅地の良好な環境を維持・形成しながら、良質なマンション等の立地を誘導し、居住人口を増やしていく。

(4) 安全・安心なまちをつくる(防災・防犯の方針)

- ① 道路斜線の緩和などにより、老朽建物の建て替えと不燃化を促進する。
- ② 避難拠点に向かう主要な避難路の安全性を高めるため、道路の拡幅整備や避難誘導標識の設置などを行う
- ③ 災害時に多様な機能を発揮する駅前広場や街角広場を整備し、防火水槽の設置や街並みの緑化を推進する。
- ④ 避難拠点や広場にある防災設備等を点検し、充実させる。
- ⑤ 商店会・町会が中心になって、防災訓練や防犯パトロールなどを行う。



■これからの進め方

今後もまちづくり懇談会を月1回程度開催し、目標の実現に向けて、地区計画制度の活用なども含めて具体的な検討を進めていきます。

これからもみなさんには、まちづくりニュースを通して、懇談会の活動についてお知らせしていきたいと思えます。

■懇談会の様子



《まちの現況や最新の情報を紹介》



《様々なテーマについて意見交換》



■大泉こぼれ話：シリーズ2…「大泉学園通りと桜並木」

大正13年(1924年)、大泉村と呼ばれていた大泉学園町の辺りは、箱根土地会社によって50万坪(現在の光が丘とほぼ同じ広さ)の雑木林が開墾され、宅地化と大学誘致が計画されました。また、そのころに「東大泉駅」(昭和8年に大泉学園駅と改名)から北へ、幅約12.7m、全長2kmの道路が開通しました。これが、現在の大泉学園通りです。

昭和8年(1933年)にこの地区が風致地区に指定されたのにもない、昭和9年(1934年)この地に大泉風致協会が結成されました。その翌年に、大泉風致協会によって沿道の両側2kmにわたって桜の樹が植えられ、その後桜の季節には武蔵野の面影を慕う人たちににぎわうようになりました。

その後、昭和50年代に大泉学園通りの道路の拡幅および歩道設置の工事が行われましたが、併せて桜並木も整備され、現在の桜並木となっています。



大泉学園通りの桜並木

「大泉学園北口地区まちづくり計画(たたき台)」についてご意見・ご要望がある方は、下記の《お問い合わせ先》事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

《事務局》練馬区 環境まちづくり事業本部

都市整備部 西部地域まちづくり課 齋藤、小美濃、今野

TEL 3993-1111 内線 8626

E-mail seibu02@city.nerima.tokyo.jp